



クジラ騒動に



少し前のことになりますが、4月にクジラの天草訪問がありました。

4/12 (水) 10:00～13:00

天草市イルカセンターから通詞島の東エリア
沖合約1km 水深15～25mのあたり

10m以上のナガス系クジラ 1頭が旋回

呼吸を1,2回して潜水、次の浮上まで10分程度体表面はきれいで、目立つケガはなし。弱っているかどうかは不明。すぐそばにはイルカがたくさんいましたが、一緒に泳いでいる様子は見られず。

12:30頃の噴気を最後に姿は見られなくなる。

噴気孔(頭の上にある、呼吸をするための鼻)や、胸びれなどの特徴を確認することができなかったため、種類の特定はできませんでした。

漁協五和支所によると、昔はこういったクジラ類もたびたび見かけることがあったそうです。今となっては、非常にレアな出来事になってしまいました。海洋環境の変化や、いくつかの要因があると思います。

今のところ、天草は「イルカがいるのが当たり前」の状況ですが、もしかしたら・・・30年後に、このクジラ騒動のような状況になる可能性もあります。とても興奮する楽しい機会に居合わせた幸運と同時に、この1頭のクジラからのメッセージについて考えさせられる出来事となりました。



天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業



やってるよ!



ナガスクジラ科は8種類の仲間がいます。イルカにはある歯がなく、その代わりに「ヒゲ板」があります。歯でエサを1匹ずつくわえる代わりに、口のなかに大量の海水を入れたあと、舌を使って海水を押し出すときに、小さな動物プランクトンをこしとります。この方法で一度にたくさんのエサを食べます。体調は10mのミンククジラから、世界最大の動物であるシロナガスクジラもこの仲間。船より大きいクジラに、本当にびっくり(´Д`)!! しました～!



Amakusa Iruka Lab SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ

- Facebook: 天草イルカラボ
- Instagram: amakusa_dolphin
- Search: